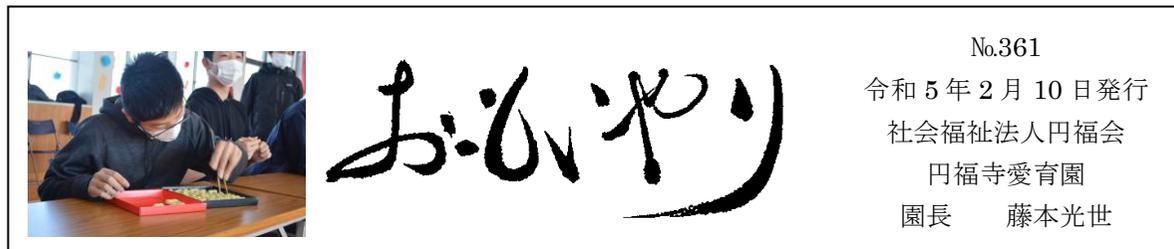


今月は箸ピーの大会へ向け練習頑張っています。様子については来月号でお伝えします。



箸ピー大会 箸リンピック 箸技大会

園長 藤本光世

愛育園の箸ピー大会は、平成 23 年から始まりました。今年は第 13 回大会になります。箸リンピックも入れましたので、箸技大会となりました。

箸ピー大会は、箸を正しく持たせたいという願いから始まりました。箸を正しく持つことは、鉛筆を正しく持つことにつながり、それは正しく美しい字を早く書けるようになると思いました。きっと人生のいろいろな場面で助けとなるでしょう。

箸を正しく持たせるにはどうしたら良いでしょう。食事のたびに、そんな持ち方はだめだよ、こう持ちなさいと持ち方を矯正するのでは、子どもたちは嫌になってしまいます。正しく持たざるを得ないような仕掛けをしたいと思ってぶつかったのが国際箸学会の小宮山栄会長が平成 19 年に日本経済新聞に書かれたコラムでした。そこに箸ピー大会が紹介されていたのです。

小宮山栄会長は、上田高校のご縁でお名前を知っていました。コミー(株)は衝突防止や万引き防止などの特殊ミラーを作る会社です。コミーは会社の発展を物語にしています。コミー物語です。中でも『「万引き問題」物語』はとっても面白いですよ。

<https://www.komy.jp/wp/wp-content/uploads/2020/08/manbikimondai.pdf>

上田高校の時に『物語』をいくつか送っていただき、その経営方針に共感していました。箸ピー大会をやりたいと願い、同窓生のお力をお借りして交流して開催することができて、それが今でも続いています。コミーの「出会いの喜び、創造の喜び、信頼の喜び」です。愛育園の箸ピー大会にも事務局の皆様とおいでになり、競技箸の制作のご指導をしてもらいました。円福友の会もご支援いただいています。

実は、箸ピーでよい記録を出すための箸の持ち方は特殊なのです。それは子どもたちに教えてもらいました。どう持つかですって。それは当園のホームページや大会でご覧になってください。

<http://www.enpukuji-aiikuen.com/letter/movie.html>

でも、正しい持ち方ができない子は、記録が伸びないことも確かです。

小宮山会長は、ピーナッツだけではなく、リングを使った箸技(箸リン)を考案して、箸ピー大会は箸技大会になりました。私は箸リンピックという名前が好きなのですが、オリンピックの名前と疑似で、使用を禁止されたそうでした。残念です。ちなみに、箸リンはとっても難しいですよ。なお、ピーナッツはアレルギーの方がおられますので、プラスチック製です。安心してください。



小宮山会長も私も箸ピー大会がもっと広まることを願っています。児童養護施設は、幅広い年齢層の子どもたちと一緒に生活を共にして、食事も共にしますから、箸ピー大会は広がると思ったのですが、意外とだめです。拒絶されるそうです。当園では子どもたちが必死になって取り組むのに、どうしてでしょうね。養育方針が違うからかなあ？知りたいです。

箸ピー大会の良さを書きましょう。

1. 集中力が増します。1 分間の箸ピーで、速い子は左手と右手の合計で 300 個を超えます。300 個を超えるということは、右手で 180 個以上、左手で 120 個以上を運べないときできません。これはすごい集中力です。
 2. 障害や特性をもった子ども、記録を伸ばすことに集中できます。すると、障害や特性が克服されます。喜びになります。自信になります
 3. 子どもにとって誇りです。友達には負けない。ほとんどの子が 220 個以上の記録を出します。小学校 1 年生ももう少しで 200 個。すごいです。
 4. 箸リンピック(箸技大会)という場で、大勢の前で活躍できます。子どもにとって川口市で開催される箸技大会に出場することは、夢です。一般の皆様の前で箸技を披露し、優勝することは子どもたちにとって大きな自信となるでしょう。
- こんな良いことがあるのに、どうして取り組めないのかなあ。当園と競争する団体が出てほしいです。

子どもたちは、毎日練習に励んでいます。今年はどんな大会になるのでしょうか。

第 13 回箸技大会、目前に迫る

あおぞらホーム長 富沢正樹

今、子ども達は 2 月 12 日の箸技大会に向けて、毎日一生懸命練習を積んでいます。食堂の片隅から始まった大会も今や 13 回目を迎えようとしており、子ども達の成長は異次元のレベルに達しています。ベースとなる種目『箸ピー』は 1 分間で落花生をいくつ移動できるかを競います。50 個の落花生を右から左、そしてまた左から右に…これをひたすら繰り返します。右手と左手でそれぞれ記録を取って、合計したものがその子の記録になります。

初心者は大体、利き手が 80 個、逆の手が 30 個(もしかしたら 8 個くらいの可能性も…)くらいが記録になると思います。是非、一度、机に落花生を広げてやってみてください。

園の子達は、合計が 300 個を超える子が 7, 8 人いて、全体の平均も 250 個くらいです。これは本当にすごいです。数字の上でもすごいです、実際の手さばきを見るともっとすごいです。手は音速のスピードを維持しながら不規則に置かれた豆に箸の角度を微調整して対応している姿はもはや一流アスリートです。真剣な目もとても凛々しくてかっこいいです。みんな栄えある『箸ピー-KING』の栄冠を掴みたくて、競争心を持って毎日練習を頑張っています。

そんな本気の「箸技大会」だからこそ、子ども達の心が表れる瞬間をたくさん目にする事ができます。純粋に向上心を持って取り組める子、周りが気になって集中力が欠けてしまう子、練習の記録が奮わないとイライラしてしまう子、逆にいい記録が出るとそれ以降練習に消極的になる子もいます。また、箱の外に豆を飛ばしてしまうと拾うタイムロスで記録が大幅に減るのであきらめてしまう子もいます。

私達職員は、とにかく「一生懸命、全力で、正々堂々」やる事を伝えますし、実際、黙々とひたむきに練習する子が毎年優勝したり、上位に入ります。気持ちが弱い子はどうしても本番でミスしたり、力を出し切れません。それでも、子ども達の中には、なかなかストレートに「黙々とひたむきにやる」というルートを選ばず、なんだかんだ言い訳や理由をつけて、ちゃんと回り道する子もいます。そこから練習期間を経て徐々に本当の成果が出る方法に気づいていきます。13



回目を迎える箸技大会の歴史の積み重ねによって、しっかり頑張れる子が増えてきましたし、そうできない子も練習を通して自分自身をしっかり勉強中です。

箸技大会は、食事のマナーの向上、生活のハリという面だけでなく、こういった子ども達の心の養育にも大きくつながる行事であると共に、私達職員

が子ども達の心の成長がどこまで進んでいるか確認できる大事な機会です。本番で力を発揮できる、心の強さを身につけられる期間にできるように毎日を過ごしていきたいと思います。来月は白熱の大会本番の様子をお伝えします。

箸技大会に向けて

まごころホーム 竹内早季

2 月 12 日に園内で毎年恒例の「箸技大会」が行われます。そのための練習が 1 月 14 日から始まり、毎日全員で記録を伸ばせるように頑張っています。箸ピー練習では、初日から両手合計 300 個を超える子がいるなど、どんどん全体のレベルが上がってきており、みんなとても張り切っています。今年から小学生として、初めて左手にも挑戦した A 君は初日に箸の持ち方からなかなかうまくいかず、イライラして、泣いてしまいました。それでも毎日諦めずに練習して、今ではゆっくりでも確実に上達してきています。泣くこともなくなり、自己ベストが出ると大喜びしていました。時には記録が伸びなかったり、豆を落としてしまったと思うようにいかないこともありますが、みんな気持ちをコントロールして本当によく頑張っています。私自身両手で 150 もいかないのも、もっと練習しないとイケないなと感じます…。本番まであと 3 週間、少しでもみんなが自己ベスト更新して、達成感や自信を感じてもらえるように応援していきたいと思います。



箸技大会に向けて あおぞら 児童意気込み

はしわざをがんばりたいとおもいます。

もくひょうは、はしピー100 かい、はしリンも 100 かいできたらいいなとおもいます。そのためがんばりたいとおもいます。

(小 1・H くん)

2 月に箸技大会があります。そこで、僕の意気込みは箸リンと、箸ピーの 2 競技で KING 決定戦に出場することと、日々の生活や、箸ピーの練習時間とかを、一生懸命頑張って、埼玉県川口

市で行われる第7回箸技大会に行くことです。1つ目のKING決定戦に出場するために、箸リン145個運びたいと思います。そのために、日々の練習で、常に最高記録を目指して、頑張りたいです。箸ピーは340個くらい運びたいと思います。そのために箸リンと一緒に、頑張りたいです。2つ目の箸技大会に出るために日々の生活では、先生たちへの暴言、みんなに暴言や挑発を無くし、決まっている生活を送り、箸ピーや箸リンの日々の練習も頑張って埼玉県会場に行きたいです。これからも、最高記録を出すために練習や生活をもっと頑張っていきたいです。



(小6・Sくん)

箸技大会の抱負は、自分のベストを尽くすことです。周りの記録に流されず、先をあまり見ず、自分に集中してベストを尽くしたいです。

これができるば、結果はついてくると信じているので頑張っていきたいです。

(中2・Yくん)

2月12日に箸技大会があります。自分は、箸ピーが苦手な練習でも良い記録がなかなかできません。毎回230の壁をこえられません。練習では250はいきます。でも、当日になると緊張してしまいます。みんなは良い記録を出しています。でも自分は230の壁になんどもぶつかり、はねかえっています。なので今年は緊張と230の壁を攻略して、ベストをつくせるようにしたいです。箸技大会では自分は、去年少したりずキング決定戦には出られませんでした。そのことから、自分は練習がはじめてから、一生懸命練習にはげみました。なので今年は絶対にキング決定戦に出たいと思います。以上の2つを頑張りたいと思います。

(中3・Sくん)

箸技大会 まごころ 児童意気込み

私の今回の大会の目標は、大会当日に練習よりも一個でも記録を伸ばすことです。そのために私が練習で頑張っていること、大会で頑張りたいことは二つあります。

一つ目は、三十分間の練習が充実した時間になるように、準備や片付けなどを積極的にやることです。また、練習では、時間を無駄にしないことを心掛けながら毎日の練習を頑張っています。二つ目は、大会当日は緊張するけど、緊張に負けないことです。私は緊張すると今まで



出来ていたことが出来なくなってしまうことがあるので、緊張にうち勝てるようにしたいです。

日々の練習の成果が大会当日に発揮できるように、毎日の練習時間を大切にしたり、練習前と後の片付けや準備などを積極的にやったりして頑張りたいです。

(高1・Sさん)

私は、箸ピーを毎日あきらめずに練習をしています。豆がおちたりしてももうだめだと思わずに一生けん命頑張っています。また、私は左手が苦手なたまにうまくいかない時があります。そんな時でも、あきらめずに最後まで豆をはこんだり、練習の時でも、左手メインで練習を積みかさねています。

また、箸リンも箸ピーと同じで最後まであきらめずに頑張っています。そして今年の箸技大会では、去年の自分の記録をこして優勝できるように、日々の練習を大事にして頑張っていきたいと思っています。

(中2・Tさん)



二月十二日に箸ピー大会があります。二月十九日に箸技大会があるので行きたいです。いま、たくさん練習をしています。点数も伸びてきているのでもっと練習をしてさいこうきろくをだせるように、頑張りたいです。

(小3・Y君)

受験に向けて

主任保育士 石崎早織

いよいよ高校入試まであとわずかとなりました。まごころホームからは3名の児童が高校受験に挑戦します。入試日が近づくにつれ緊張や不安な気持ちが出始めているようです。受験生になり、少しずつ学習量を増やしながら苦手な教科も頑張って取り組んでいたり、わからないところはそのままにせず、わかるまで解こうとする様子を見て、3人とも受験生としての自覚を持ちながら頑張っているなと感心しています。

私が担当するRちゃんも受験生の一人です。Rちゃんとは早い段階から志望校や、学習時間について計画的に進められるように話をしてきました。学習に不安があったRちゃんですが、途中で投げ出すことなくコツコツ取り組んでいました。特に冬休みは今までに比べて長い勉強時間で

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

大変だったと思いますが、それでも一生懸命取り組む姿勢を見て何が何でも合格してほしい！！と心の底から思いました。他の2名の児童も担当職員と学習内容を決め、自分の苦手なところにも向き合いよく頑張っています。最近では面接練習も始まりました。合否が決まる試験も初めてですが、それに加え面接も初めてなのでうまくしゃべれるかな・・・と心配していました。過去の質問を見ながらどう答えるかを考えたり、この言い方の方が相手に伝わりやすいよ、と言われてすぐにアドバイスを受け入れ改善しています。入試当日までたくさん練習し、少しでも自信を持って臨めるようサポートしていきたいと思います。そして最後の最後まで頑張り切れるよう応援していきます！

受験に向けて

あおぞらホーム 金井雄大

年も明けていよいよ受験シーズンに入ってきました。あおぞらホームでは今年三人の子が受験になります。すでに1人は受験が終わっており、志望校に合格しています。他の2人は前期と後期の受験が控えており、残り一か月頑張ってもらいたいと思います。受験は団体戦とよく言いますが、受験する本人だけではなく周りには、集中できる環境を作ってあげることや、風邪をひかないで心配をかけないなどできることをやって、自分の受験の時に周りの子に同じようにしてもらえらるような、思いやりを持って行ってもらいたいと思います。受験生は残された日数でできることを精いっぱいやってもらい、終わってからは公開することないように支えられたらと思います。

お正月



あおぞらホーム 畔上裕吾

今年も愛育園の元旦の始まりは早朝に起床し横田神社への参拝から始まり、朝食には新年早々から調理の先生方が丹精込めて作っていただいたおせち料理を頂きました。あおぞらホームでは1月2日に善光寺へ初詣に出掛けました。各々が今年1年の抱負をお祈りし、帰り際にはみんなでおみくじを引いています。おみくじを引き子どもたちそれぞれが一喜一

憂する姿はお正月らしくとても微笑ましかったです。さらに3日には地区で行われるどんど焼きに向けてまゆ玉作りをしました。まゆ玉作りにはこねる作業から子どもたちが一から作り、色付けも食紅を使って緑にピンク、黄色などカラフルなまゆ玉を作ることができました。最後にまゆ

(令和5年2月10日発行 月刊「円福」509号付録)

玉を枝に刺して完成です。子どもたちオリジナルのまゆ玉を作り、色合いもまゆ玉の刺し方もそれぞれの個性がでた作りとなりました。元旦から3日までとても濃い時間を過ごすことができ、子どもたちにとってもお正月の良い思い出となったのではないのでしょうか。また今年1年も事故や怪我、病気もなく元気に過ごしてほしいです。

お正月

まごころホーム 牧聖加

年が明けて早くも1ヶ月が経ちました。新型コロナウイルスの影響で帰省ができなかった年末年始でしたが、まごころホームではお正月もにぎやかに楽しく過ごしました。

まずお正月といえばということで凧作りをし、みんなで凧あげをしました。それぞれ好きな絵をかいた凧が天高く上がり、子どもたちの笑顔が印象的でした。

又、書初めもしました。今年の目標を書きホームのろうかに張り出しています。受験生が3人いるまごころホームですが、「合格」や「勉強集中」などの文字が力強く書かれており、全力を尽くして頑張してほしいなと思います。



おやつ作りも2回しました。1回目はたこ焼きとフレンチトースト、2回目はフルーツ飴とパンケーキを作りました。どれもとても上手に出来ていて、みんなでおいしく食べることができました。作っている時のキラキラとしたまなざし、食べている時のあふれ出る笑顔がとても素敵でした。

お正月は天気にも恵まれ、おいしいものをたくさん食べた分、外へ行き思い切り体を動かすこともできました。子どもたちにとって何か一つでも思い出に残るものがあると嬉しいなと思います。本年もよろしくお願いいたします。

あおぞらホームだより



あおぞらホーム 石龍成己

2月に入り、まだまだ厳しい寒さは続きますが、本年度の集大成へ向け、あおぞらホームの子たちは日々活気づいて生活を送っています。特にその中でもみんな箸ピーにかける思いはとても強く、自分が来た頃には週に3回程の練習でした

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

が、今年度は1月の途中から大会まで毎日練習に励んでいます。内容としても、30分間時間を取り、最初の10分練習して、残り20分で測定をしています。5分前から練習を始める子がいたり、30分の練習後も興奮冷めやらず、練習を行う子も出てきています。今まで見てきた中で、一番集中して取り組んでいる代だだと思います。気づけば両手で合わせて1分間に300個を超える子たちがちらほら出てきて、誰が優勝するのかとても楽しみになっています。ここ数年はキングこそはあおぞらから輩出していますが、団体戦ではまごころホームに連続して敗戦しているので、ホームの威信をかけ、全力で戦っていかれたらと思います。



また、学校の方では受験があったり、スキー教室があったり、小学生は学習発表会とあって、年度の集大成となる授業参観があったりと、いつもよりも忙しく月を送っています。その中で、段々と気持ちにばらつきが出てくる子たちもいますが、残り2か月落ち着いた生活を送って、新学期良いスタートが切れるよう頑張りたいと思います。

休日は山へソリ滑りに行って、みんな勢いよく滑って遊んだりしました。雪と言えば、朝方に積もっているとみんなあおぞらホームの子は一斉に朝早く起きて雪かきを行っています。基本的に全員参加してくれています。普段はかくのも大変な雪も、山に行けば子どもたちにとって楽しい遊び道具となって時間を忘れるぐらい楽しんでいました。学校生活、行事に全力を注ぎつつ、遊ぶ時は沢山遊んで元気に今月も過ごせていけたらと思います。

まごころホームだより



まごころホーム 遠藤あゆな

まごころホームでは、2月に行われる箸ピー大会そして、箸技大会に向けての練習が始まりました。毎日記録を更新しようと子どもたちは熱心に練習に取り組んでいます。記録が思うように伸びない時でも不穏にならず、どうしたら上手くなるのかを考え、実践する姿が多く見られ嬉しく思います。

また、高校入試の前期試験を控えた受験生もおり、毎日違う職員と面接練習に励んでいます。練習を重ねるごとに成長していく姿はとても頼もしく立派です。ホーム全体で合格を勝ち取る雰囲気を作り、試験に送り出したいと思います。

まだまだ寒さも続きますが、体調管理に気を付けて、笑顔いっぱいの春を迎える準備を整えて

(令和5年2月10日発行 月刊「円福」509号付録)

いきたいです。

調理室だより

調理員 土屋未華

2023年を迎え、あっという間に1月も過ぎました。厳しい寒さが続き、特に朝と夜は氷点下を下回り凍てつく寒さです。先日は10年に一度の大寒波でした。その日、私の勤務は早番で道路は前日に雪が降っていたこともあり、いつも以上にガリガリに凍っていました。厨房内で動くと、しだいに体が温かくなっていきますが、この日だけは体感温度は冷たいままで今までにない最強の寒さでした。

朝食を準備して子供達が来るのを待っているといつもと変わらず、元気に食堂へ入って来る全員の姿を見ました。どんなに寒くても、時間までに起床して日課に沿って動いていること、前日の夜に雪が降れば翌日の朝には中高生の男の子達と先生方が雪かきをしてくれている、なかなか出来ることではないと思います。それをきちんと取り組んでいる子供達に頭が下がります。本当に立派なことだと思います。陰ながら見守ることしか出来ませんが、子供達には怪我なく、病氣なく、1日1日を大切に楽しく過ごして欲しいです。

1月は5人の子が誕生日を迎えました。

- ・K君 誕生日メニュー
ざるそば、天ぷら、スティック野菜、抹茶パフェ
- ・Mさん 誕生日メニュー
カレークリームドリア、鶏の唐揚げ、カプレーゼ、いちごパフェ
- ・Y君 誕生日メニュー
味噌ラーメン、カリカリポテト、チョレギサラダ、フルーツの盛り合わせ
- ・Tさん 誕生日メニュー
カレー鍋、チョコバナナパフェ
- ・H君 誕生日メニュー
明太子クリームパスタ、鶏の唐揚げ、ポテトサラダ、ティラミス

